

2022年度 自己点検・自己評価

本学院は、日本語教育機関の告示基準に基づき教育水準の維持、及び教育力向上のため、自己点検・自己評価を毎年、年度末に行うものとする。

評価方法は

A:達成されている B:ほぼ達成されている C:達成に向けて努力している

D:達成されていない/必要性に気づいていなかった X:該当しない

の5段階で評価する。また、自己点検・自己評価は本学院のホームページにて公表する。

- |  |    |
|--|----|
| 1. 教育理念・目標                             | 評価 |
| 1.1 教育理念、目的、目標、育成する人物像が明確になっているか。      | A  |
| 1.2 教育理念、目的、目標、育成する人物像が社会のニーズに合致しているか。 | B  |
| 1.3 教育の理念が教職員だけではなく学生にも共有されているか。       | A  |

**【現状・具体的な取り組み・課題】**  
 年度初めの会議にて教育理念・目的について教職員で確認をしている。  
 学生募集やオリエンテーション等の機会を利用して、学生にわが校の理念・目的・目標について周知をはかってきた。学生の気持ちや現状をくみ取りながらも、より高い目標を目指していけるように指導していくことが必要である。

- |                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| 2. 学校運営                             |   |
| 2.1 日本語教育機関の告示基準に適合しているか。           | A |
| 2.2 目的等に沿った運営方針が策定されているか。           | A |
| 2.3 運営組織や意思決定機能は、有効に機能しているか。        | A |
| 2.4 人事・給与に関する規定等は整備されているか。          | A |
| 2.5 校長・教員・事務員が目標達成に必要な能力・資質を有しているか。 | A |
| 2.6 受け入れる学生の母語に対応できる組織となっているか。      | B |
| 2.7 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。      | A |
| 2.8 危機管理体制は整備されているか。                | A |

**【現状・具体的な取り組み・課題】**  
 昨年より学生の出身国の種類が増えており、対応するための体制づくりが急務の課題である。

- |  |   |
|--|---|
| 3. 教育活動  |   |
| 3.1 理念・教育目標に合致したコースを制定を行っているか。                             | A |
| 3.2 カリキュラムを体系的に編成しているか。                                    | A |
| 3.3 レベル設定において国内または国際的に認知されている熟達度枠組みを参考にしているか。              | A |
| 3.4 教員の能力、経験等を勘案し、適切な教員配置をしているか。                           | A |
| 3.5 プレースメントテストで入学者の日本語能力を判定し、適切なクラス編成を行っているか。              | A |
| 3.6 教員に対して担当するクラスの学生の学習目的、クラス編成試験の結果、学習歴等、指導に必要な情報を伝えているか。 | A |
| 3.7 成績評価、卒業判定の基準は明確になっているか。                                | A |

- |   |   |
|---|---|
| 3.8 出席及び授業記録等を備え、実施した授業を正確に記録しているか。       | A |
| 3.9 入学から修了・卒業までの学習成績の記録を保管し、適正に管理しているか。   | A |
| 3.10 理解度・到達度の測定、評価を適切に行い、その結果を学生に周知しているか。 | A |
| 3.11 授業に必要な機材等が十分に揃っているか。                 | B |
| 3.12 補助教材、生教材を使用する場合は著作権法に留意しているか。        | A |
| 3.13 日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握しているか。     | A |
| 3.14 卒業後の進路を把握しているか。                      | A |

**【現状・具体的な取り組み・課題】**

少しづつではあるが学生が増えてきており、学生たちの学習意欲も高い。すくないながらも、JLPT試験の結果では4月入学者のなかからN2合格者が3名出るなど、成果も出ている。

4. 学生支援と生活指導

- |                                      |   |
|--------------------------------------|---|
| 4.1 入学後直後のオリエンテーションは実施しているか          | A |
| 4.2 国民健康保険等の加入指導及び支援を行っているか。         | A |
| 4.3 生活に関するオリエンテーションは実施しているか。         | A |
| 4.4 休日及び長期休暇の対応はできているか。              | B |
| 4.5 学生寮、および学生の生活環境の支援を行っているか。        | A |
| 4.6 アルバイトの指導及び支援を行っているか。             | A |
| 4.7 学生の心身の健康管理・事故・怪我等のサポート体制が整っているか。 | B |
| 4.8 進学、就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか。   | A |
| 4.9 常に最新の学生の情報を把握しているか               | A |
| 4.10 入国・在留関係管理・指導を適切に行っているか。         | A |

**【現状・具体的な取り組み・課題】**

個人的な理由により帰国を余儀なくされた学生もおり、そのような問題の対処について、学則も含めて、検討が必要である。

自転車事故が2-3件あった。日頃から、乗り方について注意しているものの、母国で乗り慣れてない者もおり、ヘルメットの着用や乗り方についての指導の推進を更にしていく必要がある。

5. 教育環境

- |   |   |
|---|---|
| 5.1 教室その他の施設は、「日本語教育機関の告示基準」に適合しているか。         | A |
| 5.2 教室内は十分な照度があり換気がなされ、また、語学教育に必要な遮音がなされているか。 | A |
| 5.3 授業時間外に自習できる部屋の確保ができているか。                  | A |
| 5.4 教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され常備利用可能であるか。      | A |
| 5.5 視聴覚教材やITを利用した授業が可能な設備や教育用機器を整備しているか。      | B |
| 5.6 教員及び職員の執務に必要なスペースを確保しているか。                | A |
| 5.7 バリアフリー対策を施しているか。                          | A |
| 5.8 同時に授業を受ける学生数に応じたトイレが整備されているか。             | A |

**【現状・具体的な取り組み・課題】**

対面での授業のメリットを優先し、学生が発言する機会を多くするよう努めた。しかしながら、初中級のクラスの発音指導等では少人数にもかかわらず、学生の声が非常に小さく授業担当の教師は苦労している。学生の正しい発音と積極的な発話をどう促していくかが、課題である。

## 6. 学生募集と受け入れ

- 6.1 学生の受け入れ方針を定め、年間募集計画、募集定員を定めているか。 A
- 6.2 最新かつ正確な学校情報を入学志願者及びその経費支弁者に正確に伝えているか。 A
- 6.3 求める学生像を明示している。 A
- 6.4 海外の募集代理人（エージェント等）に最新かつ正確な情報提供を行っているか。 A
- 6.5 海外の募集代理人（エージェント等）が行う募集活動が適切に行われていることを把握しているか。 A
- 6.6 入学者の選考に関し、適切かつ公平な基準に基づいて行っているか。 A
- 6.7 入学者の選考に当たっては、学校関係者が面接等を行うよう努めているか。 A

### 【現状・具体的な取り組み・課題】

学生支援のための制度を利用して入学してきた学生が8人いた。 学習意欲も高くJLPT合格への熱意もある。しかし、それが進学意欲につながらないのが目下の課題である。

## 7. 財務

- 7.1 財務状況は中長期的に安定している。 A
- 7.2 予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれている。 A
- 7.3 適正な会計監査が行われている。 A

【現状・具体的な取り組み・課題】 毎月、税理士法人による監査を実施。学習環境を整えるための財務管理、予算を確保している。

## 8. 安全・危機管理

- 8.1 健康、衛生面について指導する体制を整えているか。 A
- 8.2 対象となる学生全員が国民健康保険に加入しているか。 A
- 8.3 重篤な疾病や障害及び交通事故にあった場合の対応を定めているか。 A
- 8.4 感染症発生時の措置を定めているか。 A
- 8.5 気象警報発令時の措置、災害発生時の避難方法を定め、教職員及び学生に周知しているか。 A

【現状・具体的な取り組み・課題】 昨年の反省をふまえて、学生の健康状態について教職員全員でより細やかに見ていくことを心がけ、遅刻や欠席、顔色の悪い学生などへの積極的な声掛けをこころがけた。

9. 法令の遵守等

- |                                       |   |
|---------------------------------------|---|
| 9.1 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。        | A |
| 9.2 教職員の個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか。   | A |
| 9.3 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。       | A |
| 9.4 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。       | A |
| 9.5 自己点検・自己評価結果を公開しているか。              | A |
| 9.6 入国管理局、関係官庁等への届け出、報告を遅滞なくおこなっているか。 | A |

**【現状・具体的な取り組み・課題】**

法令、設置基準等の遵守し、定期報告や自己点検もおこなっている。

10. 地域貢献・社会貢献

- |   |   |
|---|---|
| 10.1 学校の教育資源や施設を活用した地域貢献・社会貢献をおこなっているか。 | A |
| 10.2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。            | A |

**【現状・具体的な取り組み・課題】**

昨年に引き続き地域行事はなかった。だが、明年度は多くの行事の復活が見込まれることから、地域行事への参加を検討していきたい。

近所の人たちへの配慮という点でも、何ができるか検討していきたい。

**2022年度 課程修了者状況**

- ・現在の定員数：100名（4月生…60名、10月生…40名）
- ・2022年度卒業生数：3名（内、CEFRのA2レベル以上の者…3名）